

# 神津島

kouzushima

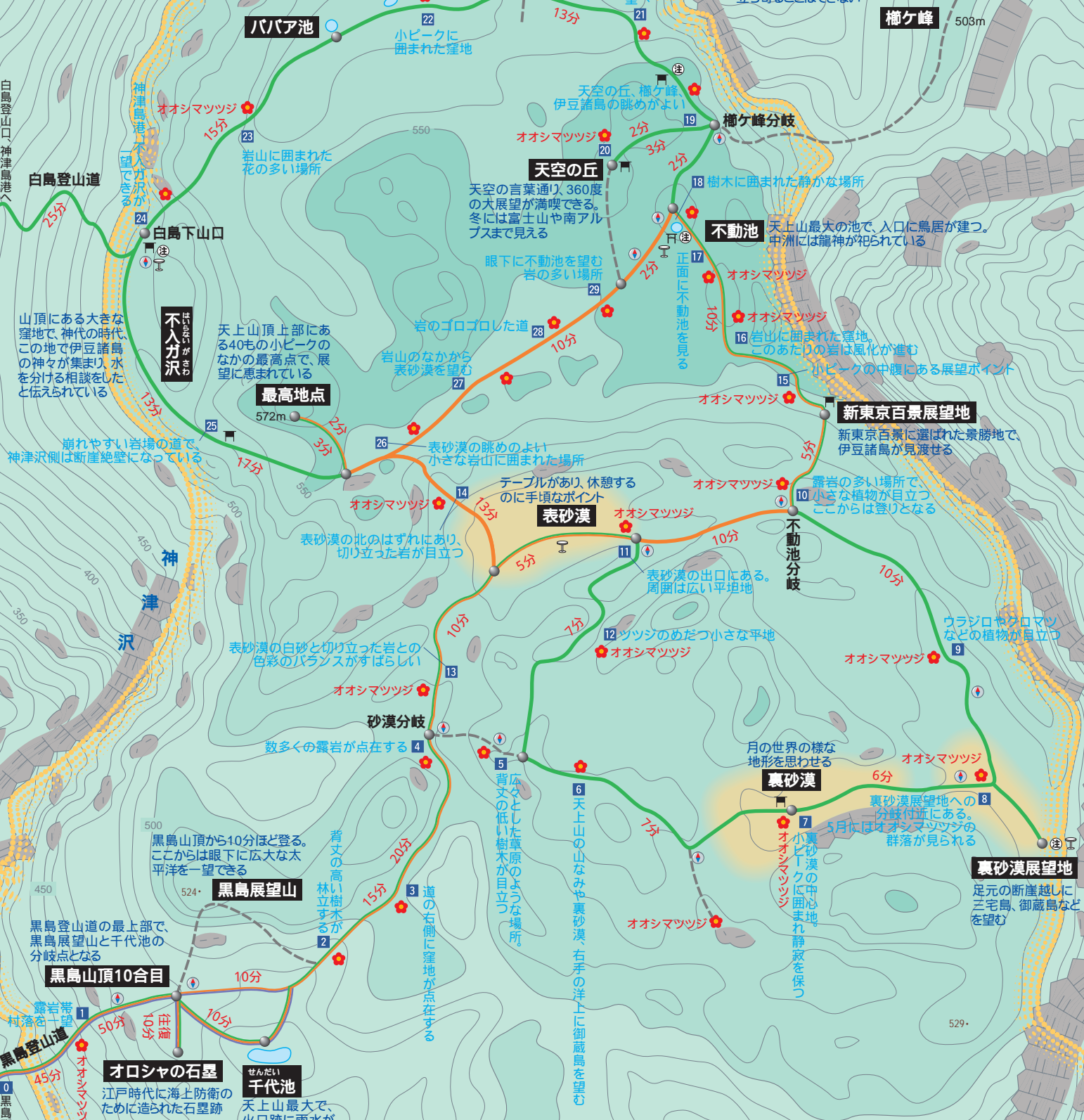
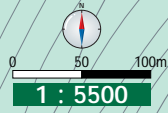
東京都神津島村

## 03

### 頂上台地に広がる多彩な花々と絶景

花の\*  
百名山

# 天上山頂上詳細ガイド MAP



新東京百景から見た櫛ヶ峰は、まるでパームガーデンのような層をなしている。残念ながら登山道の崩壊などにより立ち寄ることはできない

山頂にある大きな窪地で、神代の時代この地で伊豆諸島の神々が集まり、水を分ける相談をしたと伝えられている

崩れやすい岩場の道で、神津沢側は断崖絶壁になっている

天空の言葉通り、360度の犬展望が満喫できる。冬には富士山や南アルプスまで見える

天上山頂上部にある40もの小ピークのなかの最高点で、展望に恵まれている

岩のゴロゴロした道、岩山のなかから表砂漠を望む

表砂漠の眺めのよい小さな岩山に囲まれた場所

表砂漠の北のはずれにあり、切り立った岩が目立つ

表砂漠の白砂と切り立った岩との色彩のバランスがすばらしい

数多くの露岩が点在する

黒島山頂から10分ほど登る。ここからは眼下に広大な太平洋を一望できる

黒島登山道の最上部で、黒島展望山と千代池の分岐点となる

露岩帯村落を一望

江戸時代に海上防衛のために造られた石塁跡

天上山最大で、火口跡に雨水が貯まってきた池。渇水時には干上が

### 地図凡例

	国立公園特別保護地区		現地に立つ地点標
	初心者向け最短コース(6.5km・3時間20分)		花の目立つ場所
	展望満喫コース(9.2km・5時間5分)		方位方向板
	山頂完全周遊コース(10.6km・5時間50分)		解説板
	その他の登山道		注意説明板
	コースタイムの区切り		テーブル

問い合わせ 東京都神津島村役場観光工商課 ☎04992-8-0011 URL / <http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> (山岳情報)  
 神津島観光協会 ☎04992-8-0321 URL / <http://www.fsinet.or.jp/kouz/> (宿泊情報・予約)

劇作家・田中澄江氏監修の『花の百名山』に登場する天上山は、標高わずか572mに過ぎない。しかし、独特の気候風土の影響により、固有種であるコウツシマヤマツツジなど、さまざまな花や植物を一年を通じて見ることができる。ここでは、数多くの花のなかから35種類を紹介する。

数字は月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春の花			夏の花				秋の花				
冬の花						冬の花					

天上山の自然は共有の財産です。貴重な自然を後世に残すためにも、登山道から外れて踏み荒らししたり、花や植物を採取するなどの行為は厳禁です。また、ゴミは必ず持ち帰りましょう。



裏砂浜に咲くオオシマツツジの群落(5月中旬)

## 春



**スマレ**

[スマレ科] 3~4月  
直径1~2.5cm、鮮やかな濃い紫色の花の多年草



**ニガナ**

[キク科] 4~5月  
背丈30cmほどの多年草で、その味から名前がつく



**ショウジョウバカマ**

[ユリ科] 4~6月  
灌木の林床で数多く見られ、ピンク色の花をつける



**コウツシマヤマツツジ**

[ツツジ科] 4~6月  
神津島の固有種。山頂上部でわずかに見られる



**トキソウ**

[ラン科] 5~6月  
薄(とき)色の花による花名だが、ピンク色に近い



**セツコク**

[ラン科] 5~6月  
林床や岩の間に着生する背丈5~30cmの多年草



**オオシマツツジ**

[ツツジ科] 5~6月  
神津島を代表する花で、天上山の随所に自生する

## 夏



**イワチドリ**

[ラン科] 5~6月  
岩場に咲き淡紅紫の花をつける。天上山では稀少



**ヒメトケンラン**

[ラン科] 5~6月  
20cmほどの花茎が直立する。花は下向きにつく



**マルバシャリンバイ**

[バラ科] 5~6月  
白い小さな5弁の花をつける。別名ハナモッコク



**ガクアジサイ**

[ユキノシタ科] 5~6月  
青系の花が、がくを囲むように咲くのが特徴



**ノアザミ**

[キク科] 5~7月  
枝の先端に5cmほどの紅紫色の頭花をつける



**ハチジョウショウマ**

[ユキノシタ科] 6~7月  
伊豆諸島固有の花で、天上山では主に草地に咲く



**テリハノイバラ**

[バラ科] 6月  
バラの原種のひとつ。葉の表面に光沢がある



**カキラン**

[ラン科] 6~7月  
湿地に生える多年草。花名は柿色の花による



**ハコネコメツツジ**

[ツツジ科] 6~7月  
岩場に這うように生え、初夏、白い花をつける



**リョウブ**

[リョウブ科] 7月  
長さ15cmほどの総状の白い花を穂先につける



**シマキンレイカ**

[オミナエシ科] 6~7月  
神津島と御蔵島に咲く花で、個体数は少ない



**ネジバナ**

[ラン科] 7月  
花名はらせん状にならんだ花序の形状にちなむ



**サククリ**

[ユリ科] 7月  
上部の草地にわずかに見られる。伊豆諸島固有種



**オトギリソウ**

[オトギリソウ科] 7~8月  
漢字は弟切草。平安時代の伝説から名付けられた

## 秋



**シマシャジン**

[キキョウ科] 7~8月  
草地などに咲く。葉が厚く、光沢があるのが特徴



**ナンバンギセル**

[ハマウツボ科] 8~9月  
形状がキセルに似ていることからこの名がついた



**ハマサワヒヨドリ**

[キク科] 8~9月  
天上山では砂地にわずかに見ることができる



**キキョウ**

[キキョウ科] 8~9月  
神津島の秋の花の代表。花冠は直径4~5cmほど



**アキノキリンソウ**

[キク科] 9~10月  
主に日当たりのよい場所に生える多年草



**シラヤマギク**

[キク科] 9~10月  
背丈1~1.5cmほどの多年草で、葉はハート形



**イズイワギボウシ**

[ユリ科] 9月  
伊豆諸島の固有種。樺ヶ峰の周辺でよく見られる

## 冬



**センブリ**

[リンドウ科] 9~10月  
背丈10~20cmの2年草。白い花序を5枚つける



**イソギク**

[キク科] 10~11月  
主に海岸に咲く花だが、山頂の乾燥地にも生える



**ウメバチソウ**

[ユキノシタ科] 10月  
ウメの花に似ている。島内産は本土より小ぶり



**リンドウ**

[リンドウ科] 10~11月  
鮮やかな薄紫色。神津島の晩秋に咲く花の代表



**ワダン**

[キク科] 11月  
側枝の先に、黄色の頭花が複数房状に多数咲く



**ミヤマシキミ**

[シカン科] 12~2月  
枝先に小さな花が円錐形の穂になってひらく



**サルトリイバラ (の美)**

[ユリ科] 12~2月  
晩秋に、直径7~8cmほどの赤い実をつける